



WEST SIDE STORY

ニューヨークから世界中に熱狂と興奮をまきちらしたダイナミックな迫力! 最高・最大のミュージカル!

ウエストサイド物語

■ 11部門のアカデミー賞に輝く不朽の名作

主題曲

トゥ・ナイト
マリア
アメリカ
クラブキ巡査
こんには
クール
サムホエア
アイ・フィール・プリティ
他



CBSソニー/サントラ盤



テクニカラー/超ステレオ音響

ゴールデン・グローブ賞(最優秀映画賞)ニューヨーク批評家協会賞(作品賞)ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン賞

ナタリー・ウッド/ジョージ・チャキリス/リチャード・ベイマー
リタ・モレノ/ラス・タンブリン/タッカー・スミス

監督ジェローム・ロビンズ+ロバート・ワイズ/製作ロバート・ワイズ+ジェローム・ロビンズ
作曲レナード・バーンスタイン/撮影ダニエル・ファップ/振付ジェローム・ロビンズ

United Artists ユナイテッド映画



ウエストサイド物語



●スタッフ

製作……………ロバート・ワイズ
 監督……………ロバート・ワイズ
 ……………ジェローム・ロビンス
 脚本……………アーネスト・レーマン
 振付……………ジェローム・ロビンス
 音楽……………レナード・バーンスタイン

●キャスト

マリア……………ナタリー・ウッド
 トニー……………リチャード・ベイマー
 リフ……………ラス・タンブリン
 アニタ……………リタ・モレノ
 ベルナルド……………ジョージ・チャキリス

WEST SIDE STORY

●この映画のみどころ

開巻劈頭、70ミリのカメラがニューヨークの上空から裏町ウエスト・サイド地区におり立ち、ここの一隅にたむろするジェット団とシャーク団に焦点を合せる。耳に最初の音がとびこむ。高く、鮮明な鋭い指の音。のっけからはじまる高度な緊迫感と迫力。導入部からどきもを抜かれる。ここで新鮮なショックをうける。爆発する若いエネルギー。沸騰する生気と感動と興奮。音楽と演技とモダン・ダンスの完璧な融合。そして「ロミオとジュリエット」の完全な現代化。どの一つをとりあげても見事に、巧みに織りあわされて映画史上空前のミュージカル傑作に仕上がっている。

音楽（レナード・バーンスタイン）も振り付け（ジェローム・ロビンス）もお互いに激しくぶつかりあい、しかも節度をきびしく守っているあの快よさ。数々のミュージカル・ナンバー。歌われるのは15曲のオリジナル。トニーの歌う「サムシング」やマリアの「アイ・フィル・プリティ」のような甘い歌やエネルギーの爆発するような「ジェットの歌」。激情をおさえつつ、それをだんだん発散させていって涼しい顔にかえる「クール」。そして一番興奮を呼ぶ「トゥ・ナイト」。体育館でのあの歌と踊り、キビ、キビしたあの「アメリカ」。その他の甘美な、ダイナミックなメロディはヒット・メロディとして大受けに受けている。これこそミュージカルである。原作は57年ブロードウェイの舞台に上演（日本でもア

メリカ人の手で、アメリカ人の俳優で上演、また宝塚でも上演）された。映画化にあたって「私は死にたくない」のリアリズム派の巨匠のロバート・ワイズ監督と舞台劇を演出振付したジェローム・ロビンスが、しっかり手をくんで共同で監督にあたった。ロバート・ワイズはダイナミックな都会の線を描くハリウッドの第1人者であり、ジェローム・ロビンスは誕生地だけに「ニューヨークは俺の家だ」といっているように絶対のコンビである。

主演は今や演技派の大スターになったナタリー・ウッド、子役から着実に演技力をつけた二枚目リチャード・ベイマー、この二人を中心に舞台出のジョージ・チャキリス、ラス・タンブリン、その他生気溢れる若手が総出演している。アカデミー賞11部門受賞作品。



11月14日ロードショー

* 特別鑑賞券

¥1200 (一般 ¥1500 の処) (学生 ¥1300)

発売中!

● 東急文化会館 5 F

渋谷 東急 (407) 7029

日・祝	9:25	12:10	3:10	6:10
平日		12:10	3:10	6:10

